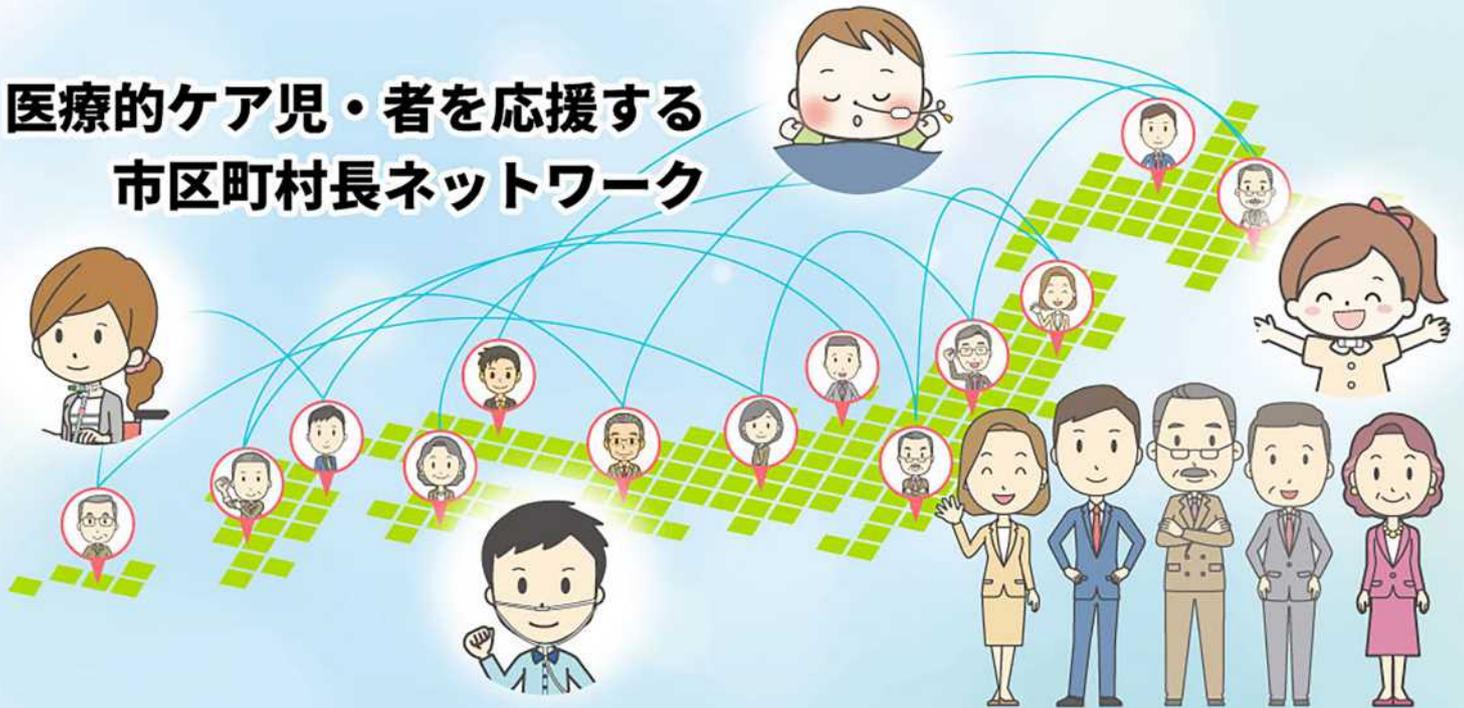


医療的ケア児者を応援する 市区町村長ネットワーク会員募集

医療的ケア児者支援の充実に意欲を持つ全国の市区町村長の皆様を会員として募集します。

医療的ケア児者が安心して夢や希望を持って暮らせる国や地域を作るため、現場の最先端にいる市区町村長同士、思いを強く持ち、共に手を携えて動きませんか。

医療的ケア児・者を応援する 市区町村長ネットワーク



予定している活動

■総会・勉強会の開催

- 医療的ケア児者を取り巻く現場の実情共有
- 国からの支援制度の概要、予算措置等の状況聴取
- 先進的な自治体取組事例の事例共有
 - ・設立総会のほかに、年に1回程度、東京都内で先進自治体の事例発表やこども家庭庁の説明などを含めた会を開催する。
 - ・総会では、医療的ケア児支援法成立に関わった国会議員等を来賓で招くなどして、支援をいただける方を広げる場とする。

■要望活動

- 国に対する要望活動（会員自治体の声を国へ届けます。）
 - ・設立総会は10～11月を目途に開催し、事前に課題となっていることを収集、整理の上、決議事項をまとめ、関係省庁に要望を行う。

ご入会に関して

■年会費

- 1万円
 - ・10～11月に開催する設立総会后に指定の口座に振込



発起人会代表
飛驒市長 都竹淳也

医療の発達に伴い、出生時のダメージを負った子どもたちの多くの命が救われ、出生後に医療的ケアを受けながら在宅生活を送る子供たちや生涯を通じて医療的ケアを必要とする方々が増加しています。こうした中、国でも医療的ケア児法が制定され支援措置が動き始めていますが、その支援の実際としては課題が山積しており、法制定のみで実際の必要な支援体制が整ったとは言えない状態です。

この法の目的を実現し、医療的ケア児者とその家族の支援を充実させていくためには、医療的ケア児者の生活現場に密着した市区町村が主体的・積極的に動く必要があります。そして、そのためには、医療的ケア児者支援への予算配分や職員配置等市区町村長の理解と決断が不可欠です。

そこで、医療的ケア児者支援に想いをもつ全国の市区町村長によるネットワークをつくることといたしました。ぜひ趣旨にご賛同いただき、互いに学びあい、国へも現場の声を伝えるなどの行動も進めしながら、医療的ケア児者の幸せのためにご参加くださいますよう、よろしく願いいたします。

発起人一同（順不同）

北海道札幌市長	秋元克広	山形県南陽市長	白岩孝夫
東京都江東区長	木村弥生	東京都世田谷区長	保坂展人
岐阜県岐阜市長	柴橋正直	愛媛県八幡浜市長	大城一郎
大阪府豊中市長	長内繁樹	大阪府大東市長	東坂浩一
大阪府東大阪市長	野田義和	岡山県総社市長	片岡聡一
福岡県古賀市長	田辺一城	佐賀県武雄市長	小松 政

医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク運営事務局

一般社団法人医療的ケア児等コーディネーター支援協会

（千葉市中央区仁戸名町・淑徳大学千葉第2キャンパス看護栄養学部内）

問い合わせ：043-305-1888（内線 309）地域看護学領域 谷口由紀子 yukiko.taniguchi@soc.shukutoku.ac.jp

詳細については公式ページより
ご覧いただけます。

